※本文内の()内の数値は志願者数の前年度確定数との対比指数を表します。

◎2段階選抜実施状況

□第1段階選抜不合格者数は、前期は前年度並も中期・後期は減少
大学別では、前期は東京大、中期・後期は一橋大が最多

〔第1段階選抜実施状況(不合格者数)〕

	前期				中期・後期				合計			
	2025年度	2024年度	増減数	指数	2025年度	2024年度	増減数	指数	2025年度	2024年度	増減数	指数
国立大	3,444	3,618	-174	95	3,234	3,681	-447	88	6,678	7,299	-621	91
公立大	1,015	795	+220	128	825	718	+107	115	1,840	1,513	+327	122
合計	4,459	4,413	+46	101	4,059	4,399	-340	92	8,518	8,812	-294	97

〔第1段階選抜不合格者数の多い上位 10 大学〕

順位	前期				中期・後期			
	2025年度		2024年度		2025年度		2024年度	
	1	東京大	893	東京大	892	一橋大	626	山梨大
2	東京都立大	772	東京工業大	407	山梨大	439	一橋大	487
3	東京科学大	429	東京都立大	360	秋田大	380	大阪公立大	423
4	一橋大	258	一橋大	306	東北大	375	東北大	276
5	富山大	212	愛媛大	239	山口大	295	福井大	274
6	愛媛大	186	三重大	221	東京都立大	276	琉球大	221
7	群馬大	141	長崎大	207	奈良県立医科大	238	旭川医科大	175
8	滋賀医科大	124	福島県立医科大	186	大阪公立大	226	奈良県立医科大	152
9	熊本大	121	和歌山県立医科大	179	琉球大	211	長崎大	135
10	千葉大	113	大阪大	174	鹿児島大	183	九州大・鹿児島大	131
全体	4,459		4,413		4,059		4,399	

2段階選抜における第1段階選抜不合格者数は、前期は46人(101)の微増、中期・後期は340人(92)の減少でした。全体では294人(97)のやや減少です。

前期では、国立大は174人(95)のやや減少です。前期で最も不合格者数の多かった東京大は、志願者数は全科類で減少でしたが、第1段階選抜は実施基準の引き締めが行われたため全科類で実施されました。その結果、不合格者数は前年度並でした。公立大は、220人(128)の大幅増加です。ただし、東京都立大の412人(214)の大幅増加によるもので、他の公立大では、福島県立医科大は174人(6)の大幅減少、和歌山県立医科大は99人(45)の大幅減少など、減少が目立ちました。なお、東京都立大は7学部全てで2段階選抜を予告しており、志願者数が全学部で増加した結果、第1段階選抜は人文社会を除く6学部で行われました。

後期では、国立大は447人(88)の減少です。前年度不合格者数104人の京都大・法の廃止による減少も影響しています。中期・後期で最も不合格者数が多かった一橋大は、2段階選抜を予告している2学部(経済、ソーシャル・データサイエンス)とも志願者数が増加したことを反映し、不合格者数も139人(129)の大幅増加でした。一方で、前年度最も不合格者数が多かった山梨大は414人(51)の大幅減少でした。中期・後期で実施の公立大は、107人(115)の大幅増加でした。前期同様、東京都立大は213人(438)の大幅増加だったほか、奈良県立医科大も86人(157)の大幅増加でした。